

2. 苫小牧港の概要

2. 苫小牧港の概要

- ◆ 苫小牧港は、世界初の本格的な掘込み式の港湾として着手され、以降、港湾整備の進捗とともに貨物量も増大し、現在では全道港湾貨物量の約半数を取扱う「国際拠点港湾」である。
- ◆ フェリー、RORO船、内外航コンテナ船など多数の定期航路を有する、内貿貨物量全国1位の流通拠点港湾として、また、北日本唯一の製油所を要するなど工業港、エネルギー港湾として、全国的にも大きな役割を果たしている。さらに、多くの人々に潤いと憩いの場を提供する親水空間も形成され、平成23年3月には「みなとオアシス」に登録されている。
- ◆ 港湾区域は、西港区、東港区を併せ約14,300ha、海岸線約24kmに及び、背後には西部工業団地・東部地域という本道随一の大規模工業地帯が形成されている。

